

令和5年度三島市健康づくり推進協議会 会議録

日時	2023年11月2日(木) 15:30～17:00
場所	三島市立保健センター 東館1階フロア
配布資料	<p>【事前送付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・資料1「第2次三島市健康づくり計画令和4年度実施計画実績報告」 ・資料2「第2次三島市健康づくり計画令和5年度実施計画」 ・委員名簿 <p>【当日配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・席次表 ・資料3「基本目標(数値目標)・分野別目標の達成状況」 ・資料4「主な事業・取り組み」 ・「第2次三島市健康づくり計画」の冊子 ・参考資料の「イベントのチラシ」

1 委嘱状交付

15名に交付(欠席者2名には後日送付)

2 市長挨拶

日ごろ、市政にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。また、本日はお忙しい中、三島市健康づくり推進協議会にご出席いただき、重ねてお礼申し上げます。この三島市健康づくり推進協議会は、市民の健康づくりに関する重要事項を調査審議するために設置しており、本市の健康づくり分野における最も重要な会議であります。

本年5月に示されました国の国民健康づくり運動プランである「健康日本21」第三次計画では、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとし、そのために「誰ひとり取り残さない健康づくりの展開」と「より実効性をもつ取組の推進」を行うこととしています。その具体的な内容としては、「集団に加え個人の特性をより重視した最適な支援・アプローチの実施」「様々な担い手の有機的な連携や社会環境の整備」「PDCAサイクル推進の強化」を行うことで、well-beingの向上にも資することが示されております。

本市におきましても、昨年度を始期とする「第2次三島市健康づくり計画」では、基本理念にはwell-beingの考え方を取り入れ、健康施策を進めてきておりまして、後ほど事務局から説明がありますが、健康無関心層や中間層を取り込み、健康格差を無くしていくため、本年度は新たに、スポーツ庁の補助金を活用し、子どもを巻き込み家族単位でアプローチする「みしま あそVIVA(ビバ)！プロジェクト」や「アーバンスポーツを通じた親子の運動習慣化事業」を実施する予定です。また、課題である女性の体力低下を解決するため、女性の運動習慣化を応援する事業にも取り組んで参ります。

本日は、第2次三島市健康づくり計画の実実施計画により進めている主な事業取り組みについて説明させていただきますが、皆様の各分野の視点からご意見をいただき、今後の健康づくり施策に生かしてまいりたいと考えておりますので、積極的なご発言をお願い申し上げます。

<委員の互選により会長を吉富医師会長に、副会長を三宅歯科医師会長に決定>

3 会長挨拶

コロナの方は少し落ちてきたような感じで、かなり感染する方が減ってきている。

一方でインフルエンザがかなり広がってきているようで、中西部はかなり学級閉鎖が出ている。

インフルエンザがどうなるかというのが専門家等も初めての経験で、このままいくのか、ブレイクするのかよくわからないような状況のようです。

国だけではなく、地域でどうするかということも、併せて考えていかなければという感じがする。

最近、皆さんもワクチンは、もう数回やったからもういいやと言われる高齢者の方も見受けられ、改めてワクチンの大切さも含めて、またアピールしていかなければならない時期ではないかなと思います。

今日は健康というお話ですけども、やはりコロナで外に出なくなって高齢者のフレイルが非常に進行して、問題となるようなことも、漏れ聞こえてきます。

動けないときにどうするかということも、家の中で、どう、体力向上は難しいでしょうけど、維持をしていくかということも含めて、自分で何ができるかということも、啓発していくということも大事なんじゃないかなと思うので、そのようなことも含めてご意見をいただければと思います。

4 議 事

(1) 第2次三島市健康づくり計画実施計画（令和4年度）実績報告について

(2) 第2次三島市健康づくり計画実施計画（令和5年度）について

<資料1・2・3により事務局から説明>

【A委員】資料3の数字の集計も大変ですが、これをグラフ等で見える化し、補助的に入れることが可能であれば、ご検討いただきたい。

⇒【事務局】確かに数字で羅列してあって、結局、多いのか少ないのかわかりづらいついていうのもありますので、また次回に向けて、例えば主だった項目についてはそんな表現をした資料のご提供を考えていきたい。

【B委員】資料3の5ページ、子宮がん検診が、令和4年の実績から大幅に伸びているのはなぜか。

⇒【事務局】医療機関を通じて、または未受診者に直接受診勧奨を行い、精密検査受診率を増やしているところです。

【B委員】この各項目の期待値というのは何か計算方式がありますか。

⇒【事務局】こちらの期待値につきましては、現状値をスタートとして、目標値をゴールにしまして、それをまっすぐ順調に改善していったとして、その間を傾斜配分の考え方で単純に設定をしています。

【B委員】子宮がん検診が伸びたところは、期待値も上げてもいいのではないかと。妊婦の歯科検診も上がっていますので、乖離があるところを見直して、もう少し実績に即した目標値で、さらに頑張っていく方が、良いような感じがしますのでご検討ください。

⇒【事務局】計画の進捗管理をしていると、たまにこのようなことがありまして、目標値を変えるのかどうかと。

計画書に目標値が載っていたりしますので、例えばこの会議の中で検討して、計画書を作り変えるってところまではいかなくても、この会議で目標値をさらに高いところに修正して、運用しているっていう形の計画の運用の方法なら、ありなのかなと思いますので、来年度に向けて内部で検討させていただければと思います。

【C委員】資料1・2・3それぞれの資料で順調、遅延を評価しているが、各資料でそれぞれ評価が違っているが、詳しく説明してほしい。

⇒【事務局】各資料作成時に評価している。資料3が現時点での最新値を入れ込み評価しているものである。

【D委員】お達者度は、三島市は、男性が19.06、女性が21.74ということで、県の35市町村のうち男性は5位、女性は12位ということで非常に高く、健康なのだと思うのですが、このお達者度の計算が、今年度で終了予定になっています。今度は、平均自立期間を出す予定になっており、この違いは、お達者度は、65歳を基準年数にしまして、そこから何歳健康でいられるかということ。平均自立期間は0歳が起点となる。国の計画も県の健康増進計画もデータヘルス計画も、この平均自立期間でいくということになっておりますので、この目標はご検討いただければと思います。

⇒【事務局】その情報は数カ月前に県の方から情報提供いただきまして、代わりに平均自立期間を公表していただけるということですので、そちらの指標に置き換えていきたいと考えております。

ただ、今回はまだ出しているというところで評価はお達者度でやらせていただいて、次回は平均自立期間に置き換えた指標を提示させていただく中で、皆様にご議論いただければと考えております。

(3) 主な事業・取り組みについて

<資料4により事務局から説明> 健康づくり課・スポーツ推進課・地域包括ケア推進課

質問・意見なし

(4) 各会議における意見等についての報告

<資料5により事務局から説明>

意見なし

5 その他